

政策目標 I - 2. まちの歴史・文化を学び、未来に伝えるまち

施策目標 I - 2 - 1

歴史的遺産の価値が理解され、守られている

目標達成に向けて！

◆基本方針

丸亀城跡や笠島伝統的建造物群保存地区、快天山古墳など多様な歴史的遺産や文化財を有し、これまで積極的な保存活動に取り組んできました。そして、多くの市民や観光客が訪れ、学習・観光資源として活かされてきました。

こうした貴重な歴史的遺産の価値を理解し、引き続き保存・活用に努め、市の大切な財産として未来に伝えます。

◆主要な施策と主な事業

歴史的遺産を次世代に伝えていくために、以下の施策を進めます。

●歴史的景観の保全

伝統的建造物を修理・修景するなど、歴史的に継承されてきたまち並みと一体的な景観の保全に努め、学習・観光資源として活用します。

- ・伝統的まち並の保存（笠島伝統的建造物群保存地区等）

●文化財の保護

市内に所在する重要な史跡を保存・整備し、市民や観光客が丸亀市の歴史にふれることができる場として活用します。

- ・文化財の調査
- ・文化財の保存整備・活用（丸亀城跡、塩飽勤番所跡、快天山古墳等）
- ・資料館の環境整備

◆成果指標

目標達成に向けた 施策		歴史的景観の保全			
達成度を測るための 指標		基準値	目標	基本計画目標値 (平成 23 年度)	将来目標値 (平成 28 年度)
笠島まち並保存センターへの年間来訪者数		1,443 人	↗	1,500 人	1,600 人
協 創	市民の役割	・歴史に関する理解を深め、まちに残された歴史的景観の保全に協力する。			
	市(行政)の役割	・伝統的建造物を修理・修景するなど歴史的景観の保全に努め、歴史にふれる貴重な財産として活用する。			

目標達成に向けた 施策		文化財の保護			
達成度を測るための 指標		基準値	目標	基本計画目標値 (平成 23 年度)	将来目標値 (平成 28 年度)
「歴史・文化が豊かで個性がある」と感じる人の割合		20% (平成 17 年 9 月)	↗	25%	30%
※市民アンケート調査					
協 創	市民の役割	・まちの歴史や文化にふれたり学んだりする。			
	市(行政)の役割	・文化財を調査・保存し、貴重な学習・観光資源として活用する。 ・文化財の重要性について啓発する。			

政策目標Ⅱ－１．日常生活が便利で快適なまち

施策目標Ⅱ－１－１

地域特性を活かした土地利用により、良好な生活空間が築かれている

目標達成に向けて！

◆基本方針

快適で潤いのある生活を送るためには、地域特性を活かし、自然と調和した適正な土地利用と、計画に沿った宅地や公園の整備が必要です。

将来の人口動向や地域の特性を考慮しながら、計画的に都市基盤の整備・充実を図り、良好な住環境の形成に努めます。

◆主要な施策と主な事業

良好な生活空間を築くために、以下の施策を進めます。

●適正な土地利用と市街地の整備

都市計画マスタープランに沿った適正な土地利用と市街地の整備を進めます。さらに、まちの景観を良くするための基本計画を策定し、自然と都市が調和した美しいまちづくりに取り組みます。

- ・良好な景観の形成（都市景観形成基本計画の策定）
- ・中心市街地の活性化

●住宅・住空間の整備

良質な宅地の整備を推進します。また、健康で文化的かつ安全な住宅を提供できるように、計画に基づいて市営住宅の整備と管理に努めます。

- ・土地区画整理

●公園の整備

人口動向や利用状況などを調査し、地域の実態に応じて公園を整備するとともに、既存施設を※バリアフリー化するなど、誰もが安心して利用できるようにします。

- ・市民ひろばの整備

※ 段差や仕切りなど高齢者や障害者が生活するうえで行動の妨げになる障壁（バリア）を取り除くこと。

◆成果指標

目標達成に向けた施策		適正な土地利用と市街地の整備			
達成度を測るための指標		基準値	目標	基本計画目標値 (平成 23 年度)	将来目標値 (平成 28 年度)
「適正な土地利用、市街地整備ができてい」と感じる市民の割合		37% (平成 17 年 9 月)	↗	45%	50%
※市民アンケート調査					
「景観に配慮したまちづくりができてい」と感じる市民の割合		48% (平成 17 年 9 月)	↗	55%	60%
※市民アンケート調査					
協創	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの土地利用や景観について自ら考え、良好な住環境の形成に向けて協力する。 ・事業者は、地域特性に配慮し、適正な土地利用と良好な都市景観の形成に努める。 			
	市(行政)の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性に合わせた都市の形成に努める。 			

目標達成に向けた施策		住宅・住空間の整備			
達成度を測るための指標		基準値	目標	基本計画目標値 (平成 23 年度)	将来目標値 (平成 28 年度)
区画整理整備済面積		2.1ha	↗	6.1ha	6.1ha
市営住宅改修済戸数		400 戸	↗	700 戸	800 戸
協創	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅・住空間の整備に協力する。 ・事業者は、良質な宅地と安全で快適な住宅の供給に努める。 			
	市(行政)の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・良質な宅地の整備を推進する。 ・文化的で安全な住宅の整備・管理に努める。 			

目標達成に向けた施策		公園の整備			
達成度を測るための指標		基準値	目標	基本計画目標値 (平成 23 年度)	将来目標値 (平成 28 年度)
「公園・緑地が整備され、よく維持管理されている」と感じる市民の割合		51% (平成 17 年 9 月)	↗	55%	60%
※市民アンケート調査					
協創	市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの大切さを理解し、進んで緑化活動に参加する。 			
	市(行政)の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な公園・緑地の整備と適正な管理に努める。 ・緑化活動を啓発し、活動を支援する。 			